

令和8年度までの目標	国語		算数・数学	
	自校A B層の割合	60%	自校A B層の割合	60%
令和5年度の成果	自校A B層の割合	48%	自校A B層の割合	38%

目標達成に向けた取組

3つの観点	教員の指導力向上	基礎学力の保障	学習習慣の確立
学校全体の取組	<ul style="list-style-type: none"> 算数科校内研究・OJT研修の充実と活用 各単元における、見通しをもった単元計画の作成 一単位時間の学習の流れを統一 主体的に学ぶ学習展開の工夫 物事における見方・考え方を横断的に活用 対話的な学びを中心にした学習の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 東京ベーシックドリル診断テストを毎学期実施 1学期 A問題（前学年） 2学期 B問題（前学年） 3学期 現行学年のA問題 ベネッセの学力テストの実施 毎週月曜日に学力アップタイムを設定 完全習得に向けた年間指導計画を作成 小テストなどの活用 3学期にマスター検定の設定（低学年） 1年生 繰り下がりのひき算 2年生 かけ算九九 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回実施の家庭学習キャンペーンでの学習習慣の徹底 松江学習スタンダードや学習用具スタンダードの活用 学力アップタイムの実施 ミライシードを活用した、児童一人一人にあった問題への取り組み
特に支援が必要な児童・生徒への手立て	<ul style="list-style-type: none"> 既習事項の丁寧な確認 適用問題を活用し、児童の理解度の把握 	<ul style="list-style-type: none"> ミライシードで苦手分野の反復練習 放課後補習教室との連携 補習計画にそった補習時間の充実 学力アップタイムでの個別指導 	<ul style="list-style-type: none"> 放課後補習教室への参加 学力アップタイムでの個別指導 ミライシードへの取り組み
成果指標	<ul style="list-style-type: none"> ○校内研究実態調査「粘り強く取り組める」肯定的な回答の割合全学年80%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○東京ベーシックドリルの診断テスト8割達成の児童の割合60%以上 	<ul style="list-style-type: none"> ○全国学力調査質問紙用紙「一日当たりの勉強時間」1時間以上の児童の割合70%以上